

吹田市 秋季市民文化祭 吹田市演劇連盟 演劇祭2021

『釈迦ヶ池の龍神』

かつて吹田に龍がいた
太古から今を紡ぐ、吹田に脈
打つ創作民話が誕生しました

2021年11月11日(木)

開演14:00

(開場13:30)

メイシアター 中ホール

入場料無料

主催：吹田市
吹田市文化団体協議会
吹田市演劇連盟



～序章 太古の誘い～ 太鼓演奏 『いとなみ』

今まで経験したことのない風雨、新型コロナウイルス、これらは人類のいとなみが作り出したもの。地球で生きるものは一つの大家族。みんながその一員であり、一つの目標に向かって心を一に行動する時。今を生きる私達の思いやりで未来が変わっていく。

演奏：今西 正直(郷土サークル 野火)

～第一章 古からの語り～ 朗読 『釈迦ヶ池のうわばみ』

岸部の「吉志部神社」の秋の例大祭では、秋の実りに感謝して可愛いお稚児さんが装束を着け、お供えする供物を唐櫃に詰めて町内をねり歩く「どんじ」という神事があります。たいへんゆかしい行事ですが、それには、神社のとなりの釈迦ヶ池にまつわるこんな「うわばみ」の伝説がありました...

朗読：大橋文江(朗読工房) 花むらてん(ろうどくコンチェルト)

脚本 大橋文江

～第二章 生命の紡ぎ～ 『へびかみ』

冬の終わりから、次の冬が始まるまでの1年のお話。季節によって起こる自然の災いはむかしむかしからへびの姿でやってくる。季節の移ろいは繰り返される命の営みそのもの。避けがたい天候の脅威をへび(神)の四季にて一巡り。

[劇回きずな] 脚本：演出 前川鈴香

出演：吉村直貴 高橋誠 佐々木唯 名倉夏生

～第三章 現代への問い～ 『釈迦ヶ池の龍神』

高齢者の身体的変化により起こるトラブルに焦点をあてた作品。龍神伝説にヒントを得て、龍神さまを敬う尚子と、その家族のぎくしゃくした日常を探ってみました。お楽しみいただき、共感頂ければと願っています。

[劇回EBIE] 脚本・演出 弓澤 玲子

出演 弓澤玲子 にしさよこ 伊丹伝 りゅう町田 夏音 謎美

舞台監修・広報デザイン：八柳まごいち(とまりぎクリエイターズ)

劇中太鼓演奏：今西正直 撮影：山田清文 制作統括：名倉まゆみ

お申し込み・問い合わせ先：

吹田市演劇連盟 名倉まゆみ

Tel : 090-5657-3507 e-mail : suitaengeki@yahoo.co.jp

○予約方法

①観劇者全員の氏名 ②住所 ③電話番号

電話または、上記メールアドレスまでご連絡ください。

※新型コロナウイルスの対策にご協力をお願いします。

連盟公式サイト



吹田市民文化祭

